

名張川3ダムフラッシュ放流の記録 (令和4年5月12日実施)



室生ダム



青蓮寺ダム



比奈知ダム



フラッシュ放流前 (9時20分)

新夏見橋地点



フラッシュ放流中 (13時20分)



フラッシュ放流前

上名張河床



フラッシュ放流後



フラッシュ放流前 (9時30分)

比奈知ダム直下流の置土

毎年、名張川上流3ダムでは洪水期に出水防災に備えて洪水を貯め込む量を確認するため、ダムの水位を下げています。

フラッシュ放流は、この水位を下げる時の放流水を有効利用して、ダムから流す水を一時的に増やし、川底の石などに付着した泥や藻などを洗い流すことで河川に住む生き物が住みやすい環境を整えるために行っており、名張川では平成16年より行っています。

各ダムではフラッシュ放流に併せてダム上流でたまった土砂をダム下流河川に置土しており、この土砂を下流に流すことにより川底の藻などを剥ぎ取る効果が見込まれます。

